



～「国民健康保険ってどんな保険？」～

国民健康保険は、みんながお世話になる保険

6月議会で、保険税の改正がありました。

高所得者は負担増 低所得者は負担減の改正

国民健康保険の加入者は、下記をみてわかるように低所得者が多く、年々低所得者加入が増え、運営に苦慮しているのが全国の傾向です。

また、会社などの健康保険は、半額は会社負担となっており、本来、国保においてこの分は、国が負担することになっていました。しかし、この額が減額され、国保加入者にとっては大きな負担となっています。

6月議会でも高所得者の負担を増やし、低所得者の負担を軽減する条例改正があり、692万円減収となりますが、こうした手法ももう限界にきているのではないのでしょうか。

増える低所得者 保険税の軽減措置は、 全世帯の38.8%

市側の答弁から、軽減措置を受けている世帯の多さが明らかになりました。所得に応じ、7割、5割、2割の軽減措置がありますが、現状は次表のとおりです。

★軽減措置を受けている世帯数

	世帯数	割合
7割軽減	1,862世帯	18.7%
5割軽減	943世帯	9.5%
2割軽減	1,045世帯	10.5%

(割合は小数点第2位を4捨5入)

増えつつける「リストラ」

一定の条件を満たす退職に対しても保険税の軽減措置があります。この措置を受けている世帯は、特定の年代に限られておらず、すべての年代に広がっていることが答弁から明らかになりました。こうしたデータからも市民のみなさんの暮らしが見えてきます。国民健康保険は、福祉色が強く、みんなの保険と言えるのではないのでしょうか。

★リストラ軽減の申出者数

	申出者数
平成24年6月現在	348人
平成25年6月現在	474人
平成26年6月現在	599人

愛西市の 国民健康保険の現状と基礎知識

① どんな人が加入するの？

- ・お店の経営者や農業等に携わる人とその家族
- ・パートやアルバイトなどで職場の健康保険に加入していない人
- ・退職などにより、職場の健康保険をやめた人とその家族など

② 現在の加入者数は？ 平成26年6月末現在

20歳未満	2,101人
～60歳未満	6,356人
～65歳未満	2,435人
～70歳未満	3,982人
～75歳未満	3,962人
75歳	4人
合計	18,840人

③ 財源は？ 平成24年度決算

国民健康保険は、特別会計で運営されており、約23%が加入者の払う保険税、約23%が国・県からの支出金、約7%が一般会計からの繰り入れで運営されています。その他、前期高齢者交付金などがあります。

④ どんな事業に使われているの？

加入者の医療費及び高額医療費、後期高齢者の保険会計への支出などのほかに、出産育児一時金、葬祭費補助などにも使われています。